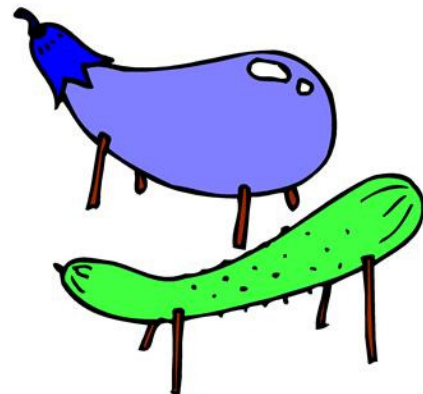


仏とは？



新井俊一



「仏とは何か？」というのは、仏法を説くものなら、必ず直面しなければならない質問です。文字通りに言えば、「仏陀 buddha」とは真実を覚った方です。歴史上この称号を認められているのは釈尊だけです。他方、大乘仏教では、数限りない諸仏を認めています。

それでは「真実」とは何でしょうか？仏教と科学とは共通の部分が多くあります。どちらも真実探求の活動です。どちらも注意深い観察によって、対象の世界を説明する法則や原則を発見しようとし、どちらも発見された法則に基づいて、これから起こることを予測することができます。

両者の違いは、科学的公理や定理は、始めは不変のように見えますが、観測機器の発達と知識の増大によって、変わってくる可能性があります。実際、科学の歴史は自ら立てた法則を打ち破る歴史でもありました。仏教の法則（仏法）は、技術や知識の変化によっては左右されません。また、科学者は物質世界の観察者でありながら、物質世界から離れた立場で観察しますが、仏教の観察者は自分を第一の観察対象にします。道元禪師（1200-1253）が『正法眼蔵』の中で次のようにおっしゃっています。

仏道をならうと言うことは、自己をならうことです。自己をならうと言うことは、自己をわすれることです。自己をわすれると言うことは、（自己を含めて）すべてのもののあり方と一致することです。

仏法と科学のもっとも大きな違いは、科学が現象世界の様々な分野を対象とするのに対して、仏法はひとえに人間の苦とその解決を関心の対象としていることです。もう一つの相違は、科学が研究の対象に対して中立で感情を差し

7月の法要予定

- 3日 10時 家族法要
11時 日本語法要
三枝さちえ師
- 10日 10時 お盆・初盆法要
11時 日本語法要
竹村義明師
- 24日 10時 家族法要
11時 日本語プログラム
- 31日 10時 家族法要
11時 日本語プログラム

挟まないことを原則としているのに対して、仏教徒はその知識の源である仏を最高に崇拝することです。もっともこの仏というのは、歴史上の肉体をもった人格というよりも、その人格を仏たらしめた究極の源（覚り、涅槃、真如、空などと呼ばれます）を指しています。

それでは仏とは何でしょうか？始めに申しましたように、第一義は真実を覚った人格です。二番目の意味で、もっと根本的な意味は、仏の覚りの内容そのものです。釈尊は、涅槃には入られる直前に弟子たちに、「わが亡き後は、私が制定した法と律を師として怠りなく励め」と遺言をされました。ということは釈尊はこの世の肉体を離れたあと、法そのものになられたのです。法となった釈尊はそれ以後、法という活動体となって、ずっと世界中の人々を教導してこられました。この法の働き（力）は時と空間に縛られないので、無量寿・無量光と呼ばれ、それが人格化されて南無阿弥陀仏という名号になられたのです。

従って、仏と法とは不離不即であります。また僧（仏弟子の集まり、教団）は、法の伝達者としてこれも法とは不離不即の関係にあります。私たちが説法を聞き、念仏する時、仏法僧の三宝と不離不即なのです。

新井先生に許可を頂き転載させて頂きました。

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。

90 努力

沼田智秀著「ささえあって」百八つのおもい より

努力とは、つとめはげむこと、ほねおること、精を出すことという意味です。

仏教では、さとりに至る道として八正道が説かれます。八正道とは、正しいものの見方、正しいものの考え方、正しいこよば、正しい行い、正しい生活、正しい努力、正しい念い、正しい心の統一の八つの正しい道です。

この六番目にある正しい努力ということですが、このことについて、「分別聖諦経」に、

正しい努力とは、正しいことに向かって怠ることなく努力すること。と説かれています。この「正しいこと」とは縁起の道理に順ずることです。簡単にいいますと、みんなに生かされて生きているという縁起の道理に立って、わが「いのち」を生かしてくださる周りの人の幸せにつながるような努力が、正しい努力なのです。

わが「いのち」を生かして下さっている周りの人びとの迷惑を省みず、自分だけのためだけにする努力は間違っているのです。



会員部より

今月は英語部に今年会費お支払いの方の全員のお名前があります。この方々は2011年の維持会費をお支払いになった方々です。70才以上は\$250（\$500ご夫妻）、70才以下は\$300（\$600ご夫妻）です。これは別院の維持に対しての最低額になります。

21st ANNUAL

WALK FOR RICE

SATURDAY, JUNE 18, 2011

ウォーク・フォー・ライス

6月18日のウォーク・フォー・ライスにはシアトル別院より30名以上が参加しました。お寺の色とりどりのバナーの後ろを、雨の中、皆元気に歩きました。別院チームとキャンプ・ファイアーチームは合わせて\$2100近くをACRSのフード・バンクに寄付しました。八幡しずえにはSBBWA、マイク、ゲール寺本にはCFを組織してもらいました。バナーがなんといってもハイライトでした、コニー尾関チンとスージー竹田が作ってくれました。また寄付をされた多くの方々にも感謝します。

帰依式へのご招待

シアトル別院ではBCAより小杭総長をお迎えし8月7日12時より帰依式を行います。帰依式とは、三帰依すなわち帰依三宝（帰依仏・帰依法・帰依僧）して仏教に帰依し、仏教というみ教えをいただいて生きていきますという仏教徒としての名告りの儀式です。帰依式は、それを受けることにより法名を授かり浄土真宗門徒になる儀式です。お釈迦様の弟子として仏教徒になったというしるしになります。そうして新たな決意のもとに報謝の生活、信仰のよろこびの生活が始まります。どうかこの機会にひとりでも多くの方の受式をお願いし、重ねてご案内いたします。

- * 法名の文字については事前に話し合う（住職選定法名）ことができます。
 - * 以前に受けられた法名がおありでもまた受けることができます。
- 申し込み用紙は7月17日までに事務所までお送り下さい。一人\$25を同封して下さい。詳しくはカストロ先生とご相談ください。申し込み用紙は英語面（P11）にあります。

赤星けんじ師の英語ワークショップ

7月30日10-8時 \$15.00

IF LIFE IS A NIGHTMARE - WAKE UP TO A DREAM

Resolving Life Issues Utilizing Buddhist Principles

詳細は英語面に

バッグセール

キャンプ・ファイアーとYBAではファンドレイザーとしてトートバッグ（グロサリーと同じ質のもの）を販売しています。14x17インチで下がり藤の絵のデザインです。一つ\$3.00、2こ\$5.00。日曜法要時事務所でお求めください。



ABA ニュース

ABAでは6月のオリオンハウスにての夕食づくりの当番をし、またウォーク・フォ・ライスに参加した。オリオンハウスには柴田デニスより寄付の中華料理がサーブされとても喜ばれた。またバートみちにもヘルプしてもらった。桑原絹江、和田真知子より過大な寄付を頂いた。マージャン・レッスンの予定をしている。参加希望者はお寺の事務所前にサインアップがあります。

日本語法要・プログラム予定



- 7月 3日 ご法話 三枝さちえ師（カストロ先生の義母）「念仏日記」
- 7月10日 ご法話 竹村義明先生
- 7月17日 日本語法要なし、盆踊り
- 7月24日 ビデオ法話 海野マーク師 「先祖のお陰」
- 7月31日 ビデオ法話 桑原浄信師 「念声は一の念仏」

7月行事予定

4日(月) 事務所休み

6, 7, 8, 11, 12日 盆踊り練習 7時半—9時、シアトル別院

9日(土) お盆セメタリー法要

12時 マウント・プレザント・セメタリー (クィーンアン)

1時 ワシントン・メモリアル (シータック)

3時半 レークビュー (キャピタルヒル)

10日(日) 10時 お盆・初盆法要 シアトル別院にて

1時 エバグリーン・ワシャリ (ノース・ゲート)

3時 サンセット・ヒル (ベルビュー)

16—17日 シアトル盆踊り

23日(土) 白河盆踊り、4時半

22—24日 NWYBL リトリート

30日(土) タコマ盆踊り、5時—9時

30日 赤星けんじ ウォークショップ 10—8時



婦人会便り

会長のメッセージ

八幡静江

4月、5月、6月当番の会員の方々が台所清掃に励まれ、素晴らしく綺麗になりました。下記の方々にお礼を申し上げます：山崎のりお・美代子、為国フランスス、浜中洋子、竹田園枝、谷野テリー、中村ジュデス、清水ダリーン、花田ペギー、高島キヨ、中野ジョーン、八幡静江。

お盆が3週間に迫って参りました。焼きそばとバラ寿司の準備、包装、そして販売に、沢山の会員の方々のお手伝いが必要です。お手伝いに出て来て頂いて2011年のお盆を楽しんで下さい。

寄附感謝録

一般寄附は、英文寄附欄を参照下さい。

7月行事予定

15日(金)	午前8時	お盆踊りの為の焼きそば・バラ寿司の準備
16日(土)	午前9時	お盆踊りの為のバラ寿司調整
17日(日)	午前9時	お盆踊りの為のバラ寿司調整
24日(日)	午前11時45分	婦人会キャビネット会議

通信書記(日) 新保エツ提出

日本語版のイーメール・アドレス Newsletter-jpn@seattlebetsuin.com
シアトル別院時報日本語面翻訳・編集 和田真知子

